



DNW-22014 の概要

課題名 : Toll 様受容体経路に着目した新規創薬標的の検証

主任研究者 (Principal Investigator) :

松本 佳則 (国立大学法人岡山大学学術研究院医歯薬学域)

ステージ : 標的検証前期

【標的疾患】

各種炎症性疾患 (全身性エリテマトーデス、敗血症、その他の炎症性疾患)

【創薬標的】

タンパク質 X

【創薬コンセプト】

マクロファージの Toll 様受容体経路活性化に関与しているタンパク質 X の活性を制御することにより各種炎症性疾患の病態発症及び進展を制御する。

【モダリティの設定】

低分子化合物等

【創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス】

以下のことが PI らにより明らかにされている。

- 1) マクロファージ中のタンパク質 X 量が増加することにより、炎症性病態が悪化する。
- 2) タンパク質 X は、チロシンキナーゼの活性化とサイトカイン産生の制御に関与する。

【支援ステージにおける目標】

各種モデル動物を用いた検討によりタンパク質 X の創薬標的としての妥当性について検証し、創薬コンセプトに基づく医薬品の炎症性疾患の治療 (治療的介入) における臨床的意義を明らかにする。

【関連特許】

無し

本資料は、創薬総合支援事業（創薬ブースター）による支援の終了時の情報をもとに作成しています。